

就職活動・失敗例&成功例

<失敗例>

1.基礎づくりと準備の不足

- ・大学時代に打ち込んだものがない
- ・自分がやりたいこと（仕事の軸）が定まっておらず、自分と企業のマッチングが十分できていない。
- ・エントリーシートの提出が後手に回り、質より量に走る



今から「自分を知り、企業を知る」ことを始める

2.面接での失敗

- ・自分の“売り”があいまいで明確にアピールできない。
- ・表面的なきれいごとでしか話せず、自分の言葉で訴えることができない。
- ・会社(面接官)に合わせようとして自分の持ち味が出せていない。
- ・会社のここが好きで、是非入社したいという強い気持ちと頑張ってやっていくという覚悟を熱意をこめて伝えられない。
- ・だらだらと冗長で焦点ぼけた内容と話し方
- ・話のストーリー（起承転結）があいまいで分かりにくい。



エントリーシート、応募書類に書いた「キーワード」と「ストーリー」を覚えておいて、面接の場では自分の言葉で面接官に思いを伝える

<成功例>

“早いうちにやっておくべき準備がしっかりできている”

1.自分を知る

- ・自己分析
- ・仕事選び、企業選びの軸の確立
- ・自分の”売り”の明確化
- ・エントリーシートのひな型の作成

【「自己PR」「学生時代に頑張ったこと」を400字でまとめておく】

2.企業を知る

- ・新聞、経済誌を読む
- ・「業界地図」等の書籍から産業界全体像を把握する
- ・インターンシップに参加する
- ・セミナーに参加する
- ・就職情報サイト、企業ホームページ等から情報を得る
- ・「日経テレコン」を活用する
- ・先生、先輩、OBから話を聞く

<就活生の生の声>

[良かった点]

- ・早くから自己分析にとりかかったのが良かった。
 - －他人にも見てもらい、新しい自分の発見もあった
- ・歳の違う先輩や企業の人と多く会って話すことができた。
 - －面接の練習になる
- ・就活ノートを作りスケジュール管理ができた。
 - －説明会、エントリー締め切り、面接の重なりへの対策
- ・内定を得るまで時間がかかったが最後まで自分を信じてマッチングする企業を見つけた。
 - －自信を失わないこと、就職は相性と縁でもある

[反省点]

- ・面接での失敗
 - ・面接練習をもっとやっておけば良かった。
 - －初めての面接は緊張で頭が真っ白になった
 - ・準備していない質問が来た時とまどってパニックになった。
 - －正解を探すのではなく会話をつなげる意識で
 - ・グループディスカッションやグループ面接で自分の時間をどれくらいとっていいのか分からなかった。
 - ・エントリーシートを丸暗記でしゃべってしまう。
- ・その他
 - ・学生時代に頑張ったことのテーマ（学業、サークル、アルバイト、留学など）が定まらなかった。
 - －何がうけるかではなく、何に打ち込んだかが大切

- ・人生での失敗体験がない。
 - ーもっといろいろなことにチャレンジして来ればよかった
- ・短所がうまく語れない。
- ・会社はわかっても仕事の内容がわからない。

「六甲台就職相談センター」で相談を!